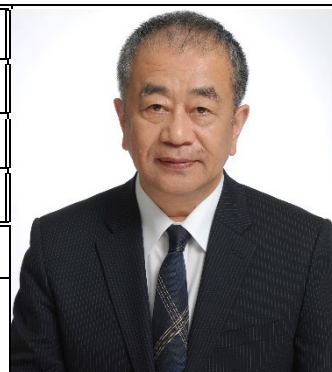


地域活性化伝道師プロフィール

分野	地域産業・イノベーション・農商工連携	◎	農・林・水産業	
	地域医療、福祉・介護、教育		観光・交流	◎
	地域コミュニティ・集落再生		環境	
	地域交通・情報通信		まちづくり	
ふりがな		かなまる ひろみ		
氏名		金丸 弘美		
所属	名称	食総合プロデューサー		
	役職	(一財)地域活性化センター シニアフェロー		
連絡	住所 (職場)	〒140-0003 東京都品川区八潮 5 丁目6-37-205		
	連絡先	e-mail	kanamaaru.hiromi[アットマーク]cameo.plala.or.jp	
		TEL 090-3688-2245	FAX -	
	連絡方法	-		
略歴	佐賀県唐津市生まれ。食環境ジャーナリスト。食総合プロデューサーとして地域づくりを連携させた食のワークショップを各地で開く。食を環境、品種、栽培法、歴史、文化までをテキストにし、地元の人との参加型で料理を作りレシピを共有化、食文化を発信するブランド化とプロモーション事業が高い評価を受ける。海外を含む現地ツアーとノウハウ連携事、公開講座などをてがける。全国を取材、執筆、講演などを通し、各地の元気をつなぐことをおこなっている。活動のテーマは、食からの地域再生、地域力創造と活性化、食育と味覚ワークショップ、地域デザイン。総務省地域力創造アドバイザー/内閣官房地域活性化応援隊地域活性化伝道師/農林水産省地産地消コーディネーター/ライターズネットワーク相談役/高知県観光特使/食の至宝雪国やまがた伝統野菜PR大使(山形県)/「かがわの食」Happy プロジェクト実行委員会委員/特定非営利活動法人発酵文化推進機構 特別研究員。/発酵ソムリエ/一般財団法人地域活性化センターシニアフェロー			
著作・論文等	著書に『田舎力 ヒト・物・カネが集まる5つの法則』(NHK 生活人新書)、『幸福な田舎のつくりかた:地域の誇りが人をつなぎ、小さな経済を動かす』(学芸出版社)、『里山産業論 「食の戦略」が六次産業を超える』(角川新書)、「田舎の力が 未来をつくる! ヒト・カネ・コトが持続するローカルからの変革」(合同出版)、『食のブランドをブランドにする!』(岩波書店)、『ゆらしい島のスローライフ』(学研教育出版)など多数。			
取組概要	1)食のブランド化。食の品種、栽培法、文化、栽培歴、出荷法、料理までを調査テキスト化。実際に料理を作るワークショップを開催しレシピ化。これらをマスコミなど対象をしばりプロモーションを展開する活動を展開。これらをメディアと連動させている。			



※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メール送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

	<p>2)食のブランド化と、保健課、栄養士、学校給食、など総合的なデータを連携。食育推進と医療費削減から、食育推進連携事業を展開。</p> <p>3)地域の景観、宿泊、食を組み合わせ、現地ツアーを実施。観光客誘致事業を実践。</p> <p>4)依頼のあった地域の特性を現地調査を行い、地域振興政策を、地域の人たちと練り上げ、政策に反映させる手法を合宿形式で展開。地域にノウハウを形成していく仕組みを展開。</p> <p>5)空き家をリノベーションをしたゲストハウス、歴史的建造物を使うなど、地域のあつものを使い公開講座を開催。空き家の活用、インバウンドにつなぐツーリズムのノウハウ連携事業を展開。</p> <p>6)イタリア・アグリツーリズム、フランス・味覚ワークショップなど先進地のワークショップを現地ツアーをコーディネートを行う。</p>
メッセージ	<p>地域資源を調査をして、地域のパーソナルを明確化するデータを駆使、またテキスト化をすることで、方向性を明確化をして、プロモーションをし、地域に経済と連携をする仕組みの構築を、各地で提案実施をしています。とくにマスコミを連携させる取り組みは大きな評価を受けいています。またワークショップをすることで、地域のノウハウの共有化をすることを実践しています。そのことで地元に残り、継続的にできるようにしていく ものです。また視察においては、質問をもっていく、合宿形式で、ノウハウを 獲得するこ とを勧め実践をしています。 現地では地域を巡りそのパーソナルを見出し、そのよさをいかに発信をしていくかを地元の形と討議をして、組み立てていく形をとっています。</p>
関連ホームページ	https://www.kanamaru-jp.com/home/index.php
活動エリア	-

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。